

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2018-06-01

No. 98

株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-4-11: 2004/A1: 2017 電圧ディップ等イミュニティ試験.....	3
IEC: 新規格リスト.....6, ISO: 新規格リスト.....	7
UNECE: 国際テーマ: 国際全車両型式承認に関する国連規制 No. 0 の説明 - 質疑応答(3/3).....	8
国際テーマ: EN 62368-1: IT 製品及びオーディオ/ビデオ製品の安全規格置き換えの状況.....	10
国際テーマ: 欧州市場監視の強化: 電気/電子製品の 58 パーセントが欧州規則に非適合.....	10
国際テーマ: 簡素化された中国 CCC マーク規則.....	11
国際テーマ: 最新のアラブ湾岸の「動き」.....	11
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	12
USA: FCC: KDB: 供給者適合宣言(SDoC)に関する数点の質問とその回答.....	13
USA: FCC: KDB: Part 95 サブパート M: 76~81GHz 帯運用自動車用レーダー要求事項.....	14
USA: CPSC: 塩化メチレンを含む特定家庭用製品の表示; 補足ガイダンス; 修正.....	15
USA: DOE: 先進自動車技術の研究、及びグリッド貯蔵技術のため資金を提供.....	16
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	17
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....17, USA: IEEE: 新規格リスト.....	18
カナダ: 官報通知 No. SMSE-008-18: REC-LAB, issue 6, CB-02, issue 8 の発行.....	19
カナダ: 官報通知 No. SMSE-006-18: RSS-Gen, issue 5 の発行: 無線標準仕様.....	19
EU: チュートリアル: EU 単一市場出荷時の製造会社の責任(3/8).....	21
EU: 無線機器指令の適用について現在提起されている疑問: MRA ワークショップより(1/3).....	22
EU: EMC 指令 (指令 2014/30/EU) ガイド 2018/3/12 版: 参考和訳販売.....	26
EU: 一般データ保護規制 (GDPR) 2016/5/24 に発効、2018/5/25 日から適用.....	28
EU: RAPEX 迅速警報システム 2017 の結果: RAPEX 統計とレポート.....	29
EU: 医療機器関連指令を実施する際に役立つ利害関係者用ガイダンス文書.....	30
EU: CENELEC: 新規格リスト.....31, EU: ETSI: 新規格リスト.....	34
ACMA: EMC 規格リスト 2018/5 版発行: AS/NZS CISPR 32、CISPR 32 等を使用のこと.....	34
中国: CQC: 統合型商用自動販売機の安全認証業務開始に関する通知.....	35
中国: CQC: 低電圧直流開閉装置の安全認証の根拠規格と規則のバージョン変更.....	35
中国: CQC: LED 照明製品の青色光の危害等級の認証規則改訂に冠する通知.....	35
中国: CQC: グリッド駆動 AC モーターの省エネルギー認証規則改訂に関する通知.....	35
中国: CQC: 独立型太陽光発電システムなどの一部の太陽光発電製品の認証規則の改訂.....	36
中国: CQC: 電気自動車の充電ステーション用低電圧開閉装置等の安全認証業務開始.....	36
中国: CQC: 自動車製品の強制性認証への新版 GB7258-2017 等規格の実施.....	37
中国: 新規格リスト.....	37
台湾: 台湾高効率太陽光発電モジュール技術規範の改正を通知し、即日発効.....	38
台湾: 新規格リスト.....	39
韓国: 電気通信事業用無線設備の技術基準の一部改正案行政予告: 5 G 対応.....	39
韓国: 韓国: 電気用品安全基準 制・改正予告 (照明機器).....	39
韓国: 電気用品安全基準 制・改正予告 (電気自動車充電システム).....	40
総務省: 無線設備の検査等に用いる測定器等を校正する指定校正機関の指定.....	41
総務省: 5.2 GHz 帯無線 LAN の利用拡大: 電波監理審議会からの答申.....	41
総務省: 衛星放送用テレビ受信設備の施工ガイドライン (案) についての意見募集.....	42
総務省: 携帯電話端末等の電力密度による評価方法 - 情報通信審議会への諮問 -.....	42
経済産業省: 電気用品安全法の対象・非対象関係運用解釈事例: 2018/5/16 追加.....	42
経済産業省: 日本工業規格 (JIS) を制定・改正しました (平成 30 年 5 月分).....	43
経済産業省: 先端医療機器 (低侵襲プラズマ止血機器) の安全性に関する国際標準が発行.....	43
経済産業省: 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会.....	44
ちよつといっぷく〜小クイズコーナー 米国 FCC SDoC の移行期限について.....	12
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐久試験についてのご案内.....	20
社長の独り言.....	45



IEC: 規格解説: IEC 61000-4-11: 2004/A1: 2017 電圧ディップ等イミュニティ試験

- IEC 61000-4-11: 2004/A1: 2017、及び EN 61000-4-11: 2004/A1 August 2017 が発行された。変更内容は、附属書 C の後に、新しい附属書 D を追加することであった。
- 「附属書 D (情報的) 電圧、立ち上がり時間および立ち下がり時間、および突入電流能力に関する信号発生器仕様に対する理論的根拠」が追加され、そこでは、「基本規格のパラメータは、妨害源から得られる大量のデータから選択された妥協点である。イミュニティ試験が適用され、現実世界でわずかな誤動作しか発生しない場合、この妥協案は正しいと見なされる (D.1)。」、「急激な立ち下がり時間の必要性に対する根拠 (D.3)」等が規定されている。

UNECE: 国際テーマ: 国際全車両型式承認に関する国連規制 No. 0 の説明 - 質疑応答(3/3)

- 国際全車両型式承認に関する統一規定に関する UN 規制 Regulation No. 0 (ECE/TRANS/WP.29/2017/108) が、国連欧州経済委員会傘下の「自動車規制の整合化に関する世界フォーラム 第 173 回セッション」で審議された。ここで紹介する本文書 (ECE/TRANS/WP.29/2017/109)は、上述の国際全車両型式承認に関する国連規制 UN 規制 No. 0 を説明するための「質疑応答」文書である。

USA: FCC: KDB: Part 95 サブパート M: 76~81GHz 帯運用自動車用レーダー一要求事項

- Part 95 サブパート M 管轄下の 76~81GHz 帯で運用される自動車用レーダーに関する要求事項。添付の 65300 76-81GHz Radars v01 に、76~81GHz 帯で運用される自動車用レーダーに関する技術要求事項についてのガイダンスが提供されている。

EU: 無線機器指令の適用について現在提起されている疑問: MRA ワークショップから(1/3)

- MRA ワークショップ Japan が 2018 年 3 月 14 日開催された。
- 演題「無線機器指令 RED の適用について現在提起されている疑問について」(ヤンクンラーツ氏 RED-CA) からその内容を三回に分けお届けする。
- RED 規定による欧州委員会への委任法行為、及び実施法行為、及び予測されている RED 実施法行為等が解説されている。

EU: RAPEX 迅速警報システム 2017 の結果: RAPEX 統計とレポート

- 製品カテゴリ/最も数多く通知された 5 つの製品は、玩具 29%、モーター車両 20%、衣類、繊維とファッションアイテム 12%、電気アプライアンスと装置機器 6%であった。

総務省: 携帯電話端末等の電力密度による評価方法—情報通信審議会への諮問—

- 携帯電話端末等の電力密度による評価方法 — 情報通信審議会への諮問—
- 6 GHz 以上の周波数帯においても国際的に整合性の取れた評価方法を確立するため、携帯電話端末等の電力密度による評価方法について諮問が行われた。

社長の独り言

平成 30 年 5 月 26 日
濱口 慶一

若葉の繁る、気持ちの良い日が続きますが、皆様は如何お過ごしでしょうか？

コスモスを創立するときに米国の日系 2 世の方に大変お世話になり、その方への御礼のための訪問と、MET Laboratories 社の定例セミナーが今年は米国西海岸のサンタクララで実施されたので、それに参加するために 4 日程度の米国出張をしてきました。

今回の出張で失敗（？）してしまったことがあります。Booking Com という携帯アプリでホテルの予約をして、きちんと確認メールが入ったので確実に予約が取れているとの理解で現地のホテルにチェックインしようとしたところ、トラブルがありました。ホテル側は、私の氏名が無いので予約されていないと言い張るし、私は日本語で確認メールを受信しているので「予約あるでしょう？」「いいえ、ありません」との問答になってしまいました。チェックインができない状況が 30 分続いたので一旦引き下がり、結局 Booking Com へ苦情を入れることにしました。Booking Com のサンフランシスコ事務所と思われる電話番号に電話しましたが、「混み合っていますのでこのままお待ちください」の英語の案内を 15 分聴いても一向にオペレーターは出ません。これを数度繰り返すも繋がらないので、今度は予約関係の苦情としてメールを送信し、これからどうしようかと考えていると、ようやく Booking Com から電話が入りました。事情を話すとどうも私が日本語で入力したので氏名が文字化けしており、異なった名前になっているとの説明でした。間違いなく私のカードでの予約があると認められ、カードナンバーでの一致ということで宿泊を認めてもらいましたが、ホームページからの入力の「文字化け」に戸惑った事件でした。

一方で良かったことは、お世話になっていた方が 92 歳に、その方の奥様は 91 歳になられ、お二人共 70 歳の私よりも元気であり、生きることに大きなパワーを貰った気分です。高速道路や市内での運転にも間違いが無く、日本の同年齢の方々には失礼ですが、どうしてこういう元気があるのかと思いました。私の母が丁度出張前に大腿骨を骨折して、ベッドの上で苦しそうな顔を見てからこの方々にお会いしたので、なお一層ギャップのようなものを感じたのでしょうか？これから日本国内も 70 歳以上の方が多くなりますが、元気な高齢者で何時迄もお元気でいていただきたいと強く思います。

6 月 8 日、三重県の津市で製品安全の考え方シリーズのセミナーの第一回を実施します。

私も 70 歳になり、たまにお客様と規格のことなどでお話しをさせていただくことがあるのですが、製品安全業界に関係する窓口の方々や、弊社のスタッフも含め、規格の基本的な考えを改めて伝えたい気持ちが最近強くなっています。人生の終盤戦に入った今、何かを残していきたいと思う中、濱口道場を作りなさいとお言葉をいただいたので今回のセミナー開設となりました。今後シリーズで開催して行きますので是非御参加下さい。私の方はセミナーで 1 時間程度のアウトラインの提供ですが、弊社の素晴らしい青年スタッフたちが講師をさせていただきます。

弊社も 6 月末が第 31 期の決算月となります。昨年 12 月に一部の製品での電気用品安全法の登録検査機関に復帰させていただきました。海外に出ていたノート PC の生産が日本へ生産拠点を戻す流れが最近出てきました。メイドインジャパンを一般ユーザーも求めているようです。私達も「日本品質の製品評価と、市場で問題が起きた時にトレースでき、かつ試験内容の再現性がある報告書の提供」を新しいキャッチコピーとして、業務に邁進していきたいと考えています。世界中の企業から日本のコスモスで製品安全評価を受けたい、コスモスの評価報告書は誰に再確認として評価させても同じ結果がでると評価され、信頼される製品安全評価機関を全社員一丸となって追求していきたいと思えます。皆様の温かいご支援、ご指導をこれからも宜しくお願い申し上げます。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2018-06-01 (No. 98)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2018 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。